

和牛種雄牛の産肉能力検定
(現場後代検定法)

笹沼清孝・藤森祐紀・大川清充・木村安之¹

Progeny Test of Sire in Japanese Black Cattle

Kiyotaka SASANUMA, Yuuki FUJIMORI, Kiyotaka OHKAWA and Yasuyuki KIMURA¹

要 約

直接検定に合格した県内産候補種雄牛2頭(千穂, 茂糸福)について, (社)全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定法(現場後代検定法)に基づく肥育試験を実施し, 産肉能力を育種価により評価した。その結果, ロース芯, 脂肪交雑の育種価が優れる千穂を選抜した。

キーワード: 和牛, 種雄牛, 現場後代検定, 千穂, 茂糸福

緒 言

産肉能力検定(直接法)により選抜された県内産候補種雄牛について, 遺伝的に産肉能力の優れた種雄牛を選抜するため, (社)全国和牛登録協会の定める産肉能力検定法(現場後代検定法)に基づき検定した。

材料および方法

1. 検定種雄牛
直接検定で選抜された県内産候補種雄牛「千穂」, 「茂糸福」の2頭。
2. 肥育場数 2場
茨城県畜産センター肉用牛研究所
全国農業協同組合連合会茨城県本部傘下農場
3. 調査牛頭数
千穂: 18頭(去勢9頭・雌9頭)
茂糸福: 16頭(去勢11頭・雌5頭)
4. 導入, 出荷時期
概ね8か月齢で導入し, 去勢は生後29か月齢未満, 雌は32か月齢未満で出荷した。
5. 調査項目
(社)日本食肉格付協会が実施した牛枝肉格付結果を用いた。

表1 飼料の配合割合と成分(重量比, %)

穀類	そうこう類	植物性油かす類	その他	粗蛋白	TDN
49	42	7	2	13以上	73以上

6. 飼料給与及び飼養管理

各肥育場の慣行法によった。
 当該においては, 濃厚飼料は市販のものを使用した。成分は表1のとおりであった。
 粗飼料については, 乾草と稲わらを給与した。乾草はチモシーを導入後6か月間不断給与し, それ以降は給与しなかった。稲わらは導入後4か月経過後に給与し始め, 2か月間は濃厚飼料と混合給与し, それ以降は分離給与とした。
 1牛房にあらかじめ除角した去勢と雌を混飼し, 敷料にはおがくずを使用し, 適宜交換した。削蹄は年に2回実施した。

結果および考察

1. 検定終了牛の概要

- 1) 千穂(ちほ)
平成10年11月3日生
黒原3812(82.1)
父 : 安福165の9
母の父 : 糸光
遺伝病 : 全てマイナス
調査頭数: 18頭で1頭除外

¹ 現 農林水産部畜産課

2) 茂糸福(しげいとふく)
 平成12年12月3日生
 黒原4136(82.8)
 父 : 平茂勝
 母の父 : 安福165の9
 遺伝病 : すべてマイナス
 調査頭数: 16頭

好であり、脂肪交雑を示すBMSNo値も千穂5.8、茂糸福5.1と良好であった。

また、育種価評価結果は表4のとおりである。選抜の目安である県基準値と比較して、千穂はロース芯面積や脂肪交雑が優れていると考えられた。

2. 枝肉成績

各候補種雄牛の枝肉成績は表2、表3のとおりである。

枝肉重量は千穂418.8kg、茂糸福436.9kgと良

3. 種雄牛の選抜

茨城県肉用牛育種改良推進協議会専門部会における検討の結果、千穂は種雄牛として選抜され、茂糸福は種雄牛として選抜されなかった。

表2 千穂の現場後代検定結果

検定番号	性	母の父	母の母の父	枝肉重量 kg	ロース芯面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	歩留基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	平茂勝	安平	455.0	54	7.1	1.5	74.1	5	4	A-3	
2	去勢	谷福6	第4光吉	514.5	61	9.0	2.0	75.1	5	4	A-4	
3	去勢	次郎桜	第4公福	392.5	44	6.4	2.0	72.8	3	3	A-2	
4	雌	北国7の8	谷福土井	504.5	53	8.5	3.5	72.6	4	3	A-3	
5	雌	東平茂	糸藤	441.5	51	7.4	4.1	71.8	4	3	B-3	
6	雌	明光4	福桜	425.0	53	6.8	3.0	72.8	3	3	A-2	
7	去勢	糸竜	北国7の8	検定除外								
8	去勢	明光4	亀継2	387.0	53	6.4	1.5	74.4	4	3	A-3	
9	去勢	谷福6	亀継2	377.0	57	6.5	1.4	75.2	6	4	A-4	
10	去勢	福桜	糸秀	414.0	56	7.6	1.4	75.3	7	4	A-4	
11	去勢	谷福6	菊谷	458.0	66	8.5	2.0	76.2	7	4	A-4	
12	去勢	北国7の8	亀継2	418.0	52	7.5	1.4	74.7	6	4	A-4	
13	雌	平茂勝	福桜	424.0	62	8.4	2.0	76.0	9	5	A-5	
14	雌	久菊6	友田の7	400.0	55	7.2	2.2	74.4	4	3	A-3	
15	雌	平茂勝	紋次郎	406.0	56	7.1	2.6	74.0	8	5	A-5	
16	雌	北国7の8	糸光	351.0	56	6.4	1.9	74.8	6	4	A-4	
17	雌	平茂勝	谷福土井	392.0	56	6.3	2.9	73.4	8	5	A-5	
18	雌	紋次郎	糸晴波	359.0	58	8.0	1.6	76.4	9	5	A-5	
平均	全体			418.8	55.5	7.4	2.2	74.4	5.8	3.9		
	去勢			427.0	55.4	7.4	1.7	74.7	5.4	3.8		
	雌			411.4	55.6	7.3	2.6	74.0	6.1	4.0		

表3 茂糸福の現場後代検定結果

検定 番号	性	母の父	母の母の父	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑		格付	瑕疵等
									BMSNo	等級		
1	去勢	明光4	福桜	495.0	55	6.7	1.9	73.2	7	4	A-4	ウ
2	去勢	紋次郎	安美金	428.0	35	8.5	3.1	71.5	3	3	B-2	
3	去勢	福栄	糸福	444.0	45	7.5	2.1	72.8	3	3	A-3	
4	雌	安福2の9	紋次郎	432.5	51	7.7	2.8	73.2	4	3	A-3	
5	雌	東萩	長谷川	450.5	47	8.1	4.0	71.7	2	2	B-2	
6	雌	亀山萩	友田の7	480.5	48	7.8	3.2	72.0	5	4	A-3	
7	去勢	北国7の8	糸光	406.0	47	6.3	1.5	73.3	7	4	A-4	
8	去勢	北国7の8	福桜	430.0	50	7.3	1.6	73.9	6	4	A-4	
9	去勢	谷福6	紋次郎	408.0	59	6.9	1.4	75.3	5	4	A-4	
10	去勢	北国7の8	明光4	434.0	43	8.0	2.0	73.2	5	4	B-4	歩留補正
11	去勢	安福57	紋次郎	395.0	41	7.3	2.4	72.5	8	5	B-5	エ歩留補正
12	去勢	菊谷	糸松	384.0	43	6.1	1.8	72.6	4	3	A-3	
13	去勢	糸竜	八重福	476.0	53	7.8	1.7	74.0	3	3	A-2	
14	雌	紋次郎	茂重波	505.0	68	8.8	3.0	75.1	10	5	A-5	
15	雌	平茂勝	安福165の9	386.0	49	6.3	2.8	72.6	6	4	A-4	ウ
16	去勢	美幸福	亀継2	436.0	35	7.8	3.0	71.0	4	3	B-3	
平均	全体			436.9	48.1	7.4	2.4	73.0	5.1	3.6		
	去勢			430.5	46.0	7.3	2.0	73.0	5.0	3.6		
	雌			450.9	52.6	7.7	3.2	72.9	5.4	3.6		

表4 現場後代検定結果の育種価評価(平成19年1月推定)

	枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑 BMS
県平均	403.555	49.436	7.273	2.624	73.284	1.185
県基準値	+17.053	+6.189	+0.391	-0.573	+1.373	+1.313
千穂	-2.039	+8.487	-0.121	-0.353	+1.384	+1.482
茂糸福	+36.521	-1.293	+0.441	+0.115	-0.504	+1.192